



- 事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F (0246) 25-3000
- 例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘 (0246) 35-3000
- 例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：鈴木弘康 幹事：松村耕平 発行：会報・広報委員会

第 3418 例会 (26号) 2026 年 4 月 16 日 (木) 晴れ

新入会員卓話 SPEECH



いわきヤクルト販売株式会社
代表取締役社長 勝田 裕之 会員

本日は皆さんからスマイルボックスでたくさんの応援をいただきありがとうございます。誕生日祝いも本当にありがとうございます。皆さんご存知の通り、今年はいわき市の60周年ですが、実は私も50周年ということで節目の年を迎えます。鈴木会長と同級生ですので、2人で頑張っています。

今お手元にヤクルトをお配りしました。飲んでいただきながら話を聞いていただければと思います。昨年9月4日の例会から入会させていただき7カ月経ちますが、その9月4日に起きた不思議な話をさせていただきます。当日はちょっと時間があって、創業者の祖父と父に今日入会するという挨拶をしようとして、お墓参りに行ってきました。無事に例会が終わり、実家に顔を出そうかなと思いついて母のところに行ってきたんですが、そうしたら、なんとなく、母が待ってたよって言うんです。今日、ロータリーの最初だったんですよ。と、たまたま、祖父の荷物片付けてたらしいです。その母が古い箱を持っていて「これがおじいちゃんの、ある意味残したもののだから、好きなものがあつたら持ってきな」と言うので、その箱を開けてみたんですね。そうしたら驚いたのが、ロータリーのロゴが入ったお札だったんですよ。中にお札はなかったんですけど、コインが2枚だけ入ってまして。その1枚目が、なんと、昭和天皇の50周年記念100円硬貨。製造年は昭和51年で、私の生まれた年だったんです。これはきっと、祖父が入会しておめでとうってというプレゼントを送ってくれたんじゃないかなと。ありがとうございます。おじいちゃんと思って、もう1枚を見たら台湾の硬貨が入ってました。こちらは年数は関係なかったんですが、ちょうど今年がロータリーの世界大会が台湾で行われる。これは行けという意味かと思いましたので6月、行ってまいります(笑)。

ここからはちょっと歴史の話も含めて駆け足になりますが、よろしく願います。まず当社の創業の話です。皆様ご存じの通り、創業は株式会社大黒屋、デパートの大黒屋さんの食品事業として乳酸菌飲料、ヤクルトの瓶詰め販売を開始しました。その後、法人化し、大黒屋食品株式会社、そしていわきヤクルト株式会社を経て、今はいわきヤクルト販売株式会社になったのが昭和45年、1970年の話です。

ご記憶にある方はいらっしゃるかもしれませんが、当時のヤクルトは瓶でした。今はプラスチック容器に変わったんですが、1番最初の創業時からしばらくは小さなガラスの瓶にヤクルトを入れていた。その当時は福島の工場から原料液が送られてきて、私の実家の庭にある工場、お水を混ぜて蓋をして毎朝、お客様の自宅にお届けしていくというのがヤクルトの始まりでした。この写真がお財布をくれた私の祖父、初代社長の勝田敏治です。今回、いわき平ロータリー20年の歩みという本を読みました。そうすると当時、多くの先輩の皆さんがいろんな苦労をしながらこの会をつくり上げて、地域に大きな力を与えてきたというのがたくさん記されていて、なるほど、こういう意味があつたんだなというのを改めて学ぶことができました。創業社長の勝田敏治も、いわき平ロータリークラブの第15代会長を務めさせていただいたご縁があります。

昭和46年に平の石川町に社屋を建てまして、こちらに本社機能と、

本社機能に移しました。こちらでしばらく初代の敏治が経営をしていたんですけども、この昭和52年、1977年に急逝し、私の父である勝田博志が、営業しかわからないという状況の中で33歳で跡を継いだのが2代目社長の始まりです。大変な苦労があつたというのは生前の父がよく話をしてくれましたが、いろんな苦労があつて、若輩の自分を助けてくれたのは父への信頼であり、そしてその地域の皆様からの助けがあつたからこそ、どうにかこの1番大変な時期を乗り越えることができた。あなたも会社を継ぐときには、自分の周りの人もそうですし、地域の方を大切にして、その信頼をしっかり得るように頑張らなさいと話をしておりましたので、私もしっかりとその意思を受け継ぎながら頑張っていきたいと思っています。

いわき平ロータリークラブのホームページから週報のバックナンバーが見られますが、2014年10月2日号で、私の父がヤクルトの歴史について話をしてくれています。ヤクルトの歴史はこちらを読んでいただければと思います。

今日せっかく皆さんにヤクルトを飲んでいただきました。よくヤクルトって何が違うの、というお話をいただくので、こだけお話をさせていただきます。今はいろんなヤクルトがあります。大きく分けると、入っている乳酸菌の数が違います。その数の多さによって、それぞれエビデンスが変わります。それがヤクルトの違いです。先ほどお飲みいただいたヤクルト1000の糖質オフですが、松竹梅でいえば松。ヤクルトで1番最高の商品です。

これはお腹の調子を整えたり、免疫調整作用があつたりは当然ですが、よく眠れる、ストレスも軽減できる。だから私もこうやって元気に皆さんの前でお話できるのは、普段からヤクルトを飲んで心がいつも穏やかで、笑顔でいられるというのが1番いいことかなと思いますので、皆様も今まで通りヤクルト商品のご愛顧をよろしく願います。

最後に、ヤクルトは40の国と地域に広がっています。年に1度、私も海外の事業所に視察に行く機会があるんですが、昨年はマレーシアのヤクルトに行ってきました。そこで面白いのが、マレーシアでは日本とはまた違う課題があると。なんなのかと聞くと、マレーシアは高温多湿なので、アフラトキシンっていうカビ毒が社会問題になってる。これはお米についたり、穀物についたりして、知らないうちに発がん性物質に変わるので。ここに着目したヤクルトと現地の大学が共同研究した結果、ヤクルトに入っている乳酸菌を毎日利用していると、アフラトキシンを簡単に体外へ出すことができるのが分かった。日本でも毎年、異常気象や気候変動できつと近い将来、同じようにアフラトキシンが、という話が国内でも耳にすることが増えるかもしれない。でもヤクルトを飲めば大丈夫ということになるので、お守り代わりとしてヤクルトを飲むとこんなにいいことがあるよっていうのが、エビデンスとして、これからも皆様のところにですね、お届けできるかなという風に思います。

私の好きな言葉がありますが、皆様のお仕事もそうでしょうし、商品を提供するときに、単純に物売るんじゃないで、そのお客様が幸せになっていくことをちゃんと考えているのか、この人生をどう豊かにするのかなということが、どんな商売でも1番大事なことはないのかと。ですので、ヤクルトもそうですけども、ヤクルトを飲んでほしいというよりは、ヤクルトを飲むことによって、病気の予防をしたり、皆さんが健康になっていただきたいというのが、1番私たちにとって大事な部分になってくると思いますので、これからもですね、精進をしながら、お客様のため、地域のためにヤクルトをお届けし続けていこうと思っています。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会：松村耕平幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・ロータリーの目的（久保田将会員）四つのテスト（清水和政会員）〕



久保田将会員



清水 和政会員

★ 誕生祝



久保田将さん
(4月8日)



新妻純男さん
(4月9日)



伊藤盛敏さん
(4月19日)



勝田裕之さん
(4月22日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆新入会員入会式

東邦銀行いわき営業部長の遠藤幸喜さん、水戸証券いわき支店長の渡辺直之さん、大和証券いわき支店長の佐野哲朗さん、福島民報社いわき支社長兼浜通り創生局担当の渡部総一郎さん、福島テレビいわき支社長の岡田健太郎さんが入会しました。岡田さんは3年ぶりの復帰です。5人は鈴木弘康会長からRCバッジなどを受け取り、「奉仕の心を胸に全力を尽くす」などとそれぞれ抱負を述べました。



遠藤幸喜さん



渡辺直之さん



佐野哲朗さん



渡部総一郎さん



岡田健太郎さん

◆会長挨拶



今日は5名に入会していただきました。これからよろしくお願ひしたいと思います。

先々週の親睦例会では親睦活動委員会の皆様には大変お世話になりました。楽しい会ができたかなと思います。学校では入学式が終わって新しい生活が始まっていますが、ニュースでは、行方不明になっていた11歳の尊い命が奪われました。これから楽しい生活が待っていたかと思うと、本当にいたたまれない気持ちです。ご冥福をお祈りするとともに、最近子供が犠牲になる事件が多いように思いますので、こういったことがなくなってほしいと切に思っております。

話は変わりますが、孔子の論語をご存知の方は多いかと思ひます。私は学生時代から、いつしか読まないといけない本であると思っておりますが、未だに読んでなくて30年以上経っています。買って本棚に置いてはありますが、いざ読もうとすると眠くなってしまっ、そのまままた本棚にしまってしまうというのが続いておりました。先日、本屋に漫画でわかる論語入門というのがありまして、これなら最後まで読めそうな思ったので買ってみて、数ページ読んでいたところ、書いてあったのが「三省」という記載がありました。

「曾子（そうし）曰（いわ）く、吾（われ）日に吾（わ）が身を三省す、人の為（ため）に謀（はか）りて忠（ちゅう）ならざるか。朋友（ほうゆう）と交（まじ）わりて信（しん）ならざるか、習（な）むざるを伝（つた）えしか、と」

意味としては、自分の行動を日々何度も見つめ直す、反省するということでごさいます、具体的には、他人のために真心を尽くしたか、友人と交わりて信義に欠けることはなかった、習っていないことを受け売りで教えていないか、というような意味です。

これを読んだ時に、今日は全員で唱和させてもらいましたが、四つのテストと真意は同じだという風を感じました。真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか。全ては真実かどうかというところでありませうけども、これは三省するという風に通じてるのかなと私なりにちょっと理解をさせてもらいました。

論語は約2500年前に書かれたと言われていませう。現代においても通用することが書かれている古典というのはいはり読むべき価値があると改めて感じました。ちなみに出版社には「三省堂」がありますが、社名の由来になっているそうです。それでは、どうぞよろしくお願ひいたします。

◆幹事報告

- ・ロータリーレートは1ドル160円となっています。
- ・ガバナー月信4月号が届きました。
- ・いわき小名浜RCより4月プログラムが届きました。

◆委員会報告・会員報告

◆S.A.A（三瓶和秀会場監督）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
4月16日	46名	31名	—

◆ロータリー財団委員会（関口武司委員長）

清水和政さん、松崎浩さん、伊藤浩一さん、佐々木貢一さん、渡邊有さん、阿部弘行さん、有賀行秀さん、関口武司さん。以上8件

◆米山記念奨学会委員会（松村耕三委員長）

有賀行秀さん、阿部弘行さん、関口武司さん、渡邊有さん、伊藤浩一さん、佐々木貢一さん、清水和政さん、松崎浩さん。以上8件

◆公共イメージ情報委員会（有賀行秀副委員長）

ロータリーの友「見どころ読みどころ」

◆スマイルボックス委員会（代理：村上淳会員）

- ♥新妻純男さん（誕生祝ありがとうございます）
 - ♥勝田裕之さん（誕生祝有難うございます。今日は新会員卓話を宜しくお願ひ致します）
 - ♥久保田将さん（誕生日祝ありがとうございます）
 - ♥阿部弘行さん
 - ♥有賀行秀さん
 - ♥鈴木東雄さん
 - ♥黒須幸雄さん（勝田さんの卓話楽しみにしてませう）
 - ♥関口武司さん
 - ♥村上淳さん
 - ♥渡邊有さん
 - ♥小野寺順正さん
 - ♥鈴木雄大さん
 - ♥佐々木貢一さん
 - ♥松崎浩さん
 - ♥稲葉廣直さん
 - ♥清水和政さん（勝田裕之さん卓話宜しくお願ひします）
 - ♥出島規弘さん（勝田社長よろしくお願ひします）
 - ♥伊藤浩一さん（本日の卓話講師勝田裕之様よろしくお願ひ申しあげませう）
 - ♥伊藤盛敏さん（勝田さん卓話よろしくお願ひ致します。誕生祝ありがとうございます。79才になります）
 - ♥鈴木弘康さん（遠藤幸喜様、渡辺直之様、佐野哲朗様、渡部総一郎様、今後もよろしくお願ひ致します。岡田健太郎様おかえりなさい。また宜しくお願ひします。勝田裕之さん卓話楽しみにしてませう）
- 以上20名

★本日の例会案内 4月23日（木）12：30～

外部卓話 青木あすなる建設株式会社様

お食事メニュー＝アイナメと蕪のとりみ煮

※4月30日(木)は休会